

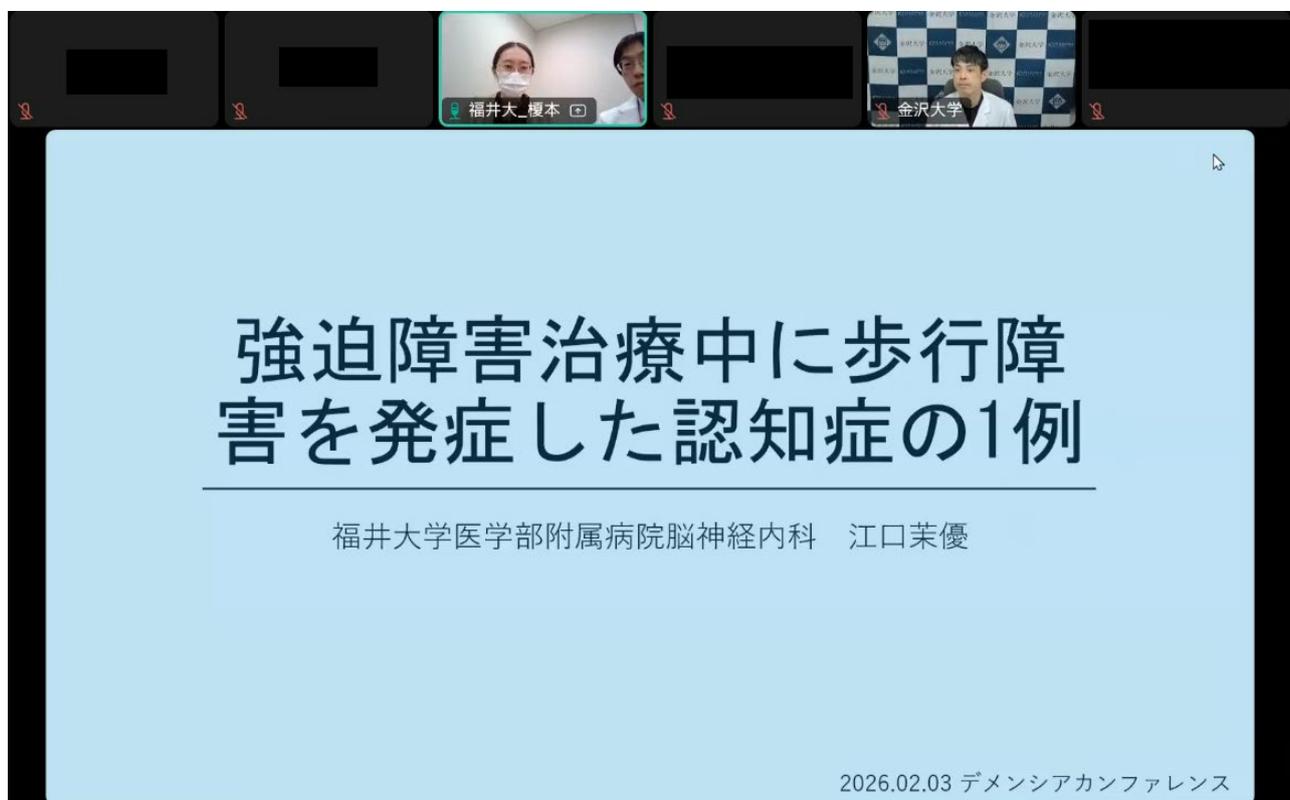
第 117 回デメンシアカンファレンスを開催

2026 年 2 月 3 日

2月3日（火）に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）
「第117回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「強迫症の治療中に歩行障害を呈した認知症の一例」のタイトルで、福井大学からの症例報告で進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。

症例発表の様子とスライド



強迫障害治療中に歩行障害を発症した認知症の1例

福井大学医学部附属病院脳神経内科 江口茉優

2026.02.03 デメンシアカンファレンス

第 117 回デメンシアカンファレンス 報告要旨 『強迫症の治療中に歩行障害を呈した認知症の一例』

発表者：江口茉優（福井大学医学部附属病院脳神経内科）

司 会：榎本崇一（福井大学医学部附属病院脳神経内科）

【要 旨】

亜急性硬化性全脳炎(Subacute sclerosing panencephalitis : SSPE)は変異麻疹ウイルスによる中枢神経系の遅発性ウイルス感染症である。当院で診断した 60 歳女性の SSPE の 1 例を報告する。

症例は最終学歴高卒、職業歴は事務職であった 60 歳女性。病前性格はおとなしく、受診より 20 年ほど前から入浴に 4 時間かかるなど強迫症様の症状が出現していた。X 年初旬より小刻み歩行や強迫行為の増悪、不眠が出現した。6 月には歩行困難、複数回の転倒があり原因検索で前医に入院された。頭部 MRI で両側大脳に広汎な白質病変を認め、さらなる精査目的に X 年 7 月に当院転院となった。転院時には両側上肢の運動時振戦、軽度筋強剛、小刻み歩行、認知機能障害、強迫行為を認めた。本人への問診で幼少期の麻疹罹患が発覚した。頭部 MRI で両側大脳白質、基底核、脳幹に広く FLAIR 高信号病変を認めた。髄液検査では髄液細胞数の単核球優位の上昇、髄液糖の低下、脳脊髄液 IgG-index の上昇、オリゴクローナルバンド陽性であった。髄液・血清麻疹 IgG 抗体価上昇しており、中枢神経での抗体産生の指標として CSQrel を測定依頼したところ、1.93 と高値であった。他の炎症性・自己免疫性・代謝性・感染性疾患は検査により除外されたため、最終的に SSPE の診断とした。発症後はイノシンプラノベクスの投与を開始し 5 か月の無増悪を確認している。

SSPE は麻疹感染後数年～十数年の潜伏期間を経て発症する。わが国では 1978 年 10 月から麻疹ワクチンが定期摂取として開始されており、それ以降 SSPE の発症は極めてまれである。本症例は 60 歳以上で発症した SSPE の報告としては 5 例目、本邦では最高齢となる。高齢発症の白質脳症では、SSPE の可能性も念頭に置く必要があることを示す貴重な一例と考える。

本症例は典型的なミオクローヌスや PSD を欠き、髄液糖低下と高度の広汎白質病変を伴う点で SSPE としては非典型的の臨床像を示した。55 歳以上発症 SSPE の既報例と同様に、本症例でも中核症状は認知症および精神症状であり、頭部 MRI ではびまん性の T2 高信号が目立ったことから、高齢発症例では進行性認知症・精神症状と白質病変を認めた場合に SSPE を鑑別に挙げる必要があると考えられた。また、現行のワクチン施行歴から 50 代後半以降の世代には麻疹自然感染歴を有する者が含まれることが推測され、今後この年代の原因不明認知症の診療において SSPE の拾い上げが重要になると考えられた。

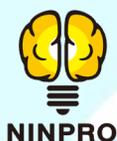
【質問・意見】

Q：正常圧水頭症も考えられる頭部画像であるが、そこに対しての検討はされましたか？

A：頭部 CT から正常圧水頭症も鑑別にあげ、タップテストを行いました。結果としては症状改善はなく、否定的と考えています。

Q：麻疹既感染だと髄液中の I g G 抗体高値であることはままたまあるかと思われませんが、病原性があるものとそうでないものをどう判断しますか？

A：中枢神経での抗体産生がされているかを評価する指標として、研究目的の外注検査になりますが、CSQrel の測定を利用するのがいいと考えます。また、ガイドライン上では髄液麻疹 I g G 抗体価/血清麻疹 I g G 抗体価 > 0.05 が診断に有用とされており、比率で検討するのがよいと考えます。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第117回デメンシアカンファレンス(Web)

2026年2月3日(火) 18:30~

『強迫症の治療中に歩行障害を呈した 認知症の一例』

発表者:福井大学医学部脳神経内科学 江口茉優

担 当:福井大学

対 象:認プロ参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生含む)

【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム (Webex)を使用

- 教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りしますので、記載のURLより会議にご参加下さい
- 教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します
- 上記以外で参加を希望される方は2月2日までに、氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください
(ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208

E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL:<http://ninpro.jp/>